

## (5) 減災のための目標(案)について

# 鵜川の洪水での主な特徴

## ①短時間の水位上昇により迅速な避難を要する

- ・平成4年洪水では、はん濫注意水位から最高水位まで約2m上昇するのに約6時間。
- ・水位上昇が速いため、迅速な情報収集・伝達が必要。

## ②むかわ町内の各居住地区が分断、孤立する

- ・河川に沿ったむかわ町市街地と穂別市街地の上下流を結ぶ道路（道道74号穂別鵜川線等）が浸水・土砂崩れにより通行止めになることが多く（平成18年8月洪水等）、1m以上浸水するおそれがある。
- ・鵜川は、山間部を細長く流れ、狭隘な河岸段丘上の平地が主な生活の場。大規模水害時には、その平地の大半が浸水し、各居住地区が分断、孤立するため、能動的な避難行動を促すための取組や、適切な場所への避難誘導が必要。
- ・近年、平成4・13・15・18年洪水のように計画高水位を超える洪水が頻発している。分断、孤立する各居住地区における迅速な水防活動が必要。

## ③氾濫による基幹産業（高収益農作物等）への影響

- ・家屋のほか、稲作に加えて急成長しているハウス栽培（レタス・トマト等）等の町の基幹産業への影響が大きく、社会経済活動の早期復旧に向けた効率的な排水活動が必要。



H4. 8穂別地区市街部浸水



H13. 9道道米原田浦線冠水



H18. 8道道穂別鵜川線土砂崩れ

# 鵜川における減災のための目標（案）

## ■ 5年間で達成すべき目標

### 鵜川の大規模水害に対し

「洪水による交通途絶、集落の孤立化から地域を守る」

「迅速・確実な避難を目指す」「基幹産業への影響を最小化する」

※大規模水害・・・想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水氾濫による被害

※交通途絶、孤立化・・・山間部を細長く流れる狭隘な生活空間の地形特性から、洪水氾濫に伴う道路の交通途絶や分散している各居住地区の集落が孤立する状況

※地域を守る・・・各居住地区の情報の収集・伝達を行うとともに、堤防決壊を遅らせるための水防活動の強化や、避難行動に備えた備蓄資材の充実等を図る

※迅速・確実な避難・・・流域住民が予め避難経路・避難場所を把握し、事前及びリアルタイムの防災情報等入手し、避難勧告等に基づき避難を行う

## ■ 上記目標達成に向けた3本柱の取組

鵜川において水災害防止を目的として河川管理者が実施する堤防整備等の洪水を河川内で安全に流す対策に加え、下記の取り組みを実施。

1. 分断・孤立する地域特性や迅速かつ確実な避難のための**避難行動に関する取組**
2. 社会経済被害軽減のための的確な**水防活動に関する取組**
3. 社会経済活動の**早期復旧のための取組**

# 沙流川の水害での主な特徴

## ①短時間の水位上昇により迅速な避難を要する

- ・平成15年洪水では、はん濫注意水位から最高水位まで約4.2m上昇するのに約8時間。
- ・水位上昇が速いため、迅速な情報収集・伝達や、上下流で連携した水防活動が必要。

## ②一度氾濫すると浸水が広範囲に生じる

- ・沙流川は、山間部を細長く流れ、狭隘な河岸段丘上の平地が主な生活の場。大規模水害時には、その平地の大半が浸水し、特に、平取町から日高町門別までつながる一つの氾濫域のため広い区間で浸水し、河川に沿った道路（国道237号等）は1m以上浸水するおそれがあることから、能動的な避難行動を促すための取組や、適切な場所への避難誘導、迅速な水防活動が必要。

## ③氾濫による基幹産業（高収益農作物等）への影響

- ・家屋のほか、稲作に加えて成長を続けているハウス栽培による「トマト」等の基幹産業への影響が大きく、社会経済活動の早期復旧に向けた効率的な排水活動が必要。



H15. 8沙流川下流の状況



H15. 8沙流川下流の状況



H18. 8平取町野菜地区の浸水状況

# 沙流川における減災のための目標（案）

## ■ 5年間で達成すべき目標

### 沙流川の大規模水害に対し

**「迅速・確実な避難を目指す」「広域的な氾濫から地域を守る」  
「基幹産業への影響を最小化する」**

※大規模水害・・・想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水氾濫による被害

※迅速・確実な避難・・・流域住民が予め避難経路・避難場所を把握し、事前及びリアルタイムの防災情報等入手し、避難勧告等に基づき避難を行う

※広域的な氾濫・・・山間部を細長く流れる狭隘な生活空間の地形特性から、特に平取町から日高町門別までの広域的な区間で氾濫が広がる状況

※地域を守る・・・上下流の自治体等の連携した情報の収集・伝達を行うとともに、堤防決壊を遅らせるための水防活動の強化や備蓄資材の充実、高速な氾濫流による家屋流出に備えた立ち退き避難の促進等を図る

## ■ 上記目標達成に向けた3本柱の取組

沙流川において水災害防止を目的として河川管理者が実施する堤防整備等の洪水を河川内で安全に流す対策に加え、下記の取り組みを実施。

1. 広域的に氾濫する地域特性や迅速かつ確実な避難のための**避難行動に関する取組**
2. 社会経済被害軽減のための的確な**水防活動に関する取組**
3. 社会経済活動の**早期復旧のための取組**

# 迅速かつ確実な避難行動に関する取組事例①

## ■情報伝達、避難計画等に関する事項（タイムライン）

平成27年12月24日の準備会を皮切りに、これまで**2回の検討会**を開催。  
**沙流川流域19の関係機関が参画**し、「意思決定」、「住民避難支援」、「住民安全対策」、「河川インフラ対策」、「社会インフラ対策」の**5つのグループに分かれ**、水害警戒時から水害拡大の可能性がなくなるまでの一連の機関における『**防災行動項目、防災行動の実施タイミング**』の抽出、整理を行った。  
 今後は、これまでの**検討結果を素案**として検討会で協議を重ね、**一次案**を作成し、**検証訓練**により運用上の問題点や課題を抽出した後、**年度内に試行版を完成させ、実運用**を図る。

### 第1回検討会 平成28年1月29日(金)

第1回検討会では、シナリオ災害の際、「どんな被害が想定されるか」、「何をすべきか」、「どんな課題があるか」の3つのテーマごと取るべき防災行動について情報共有した。



参加機関との意見交換



座長の講評



紀宝町の特別講演

### 第2回検討会 平成28年2月25日(木)

第2回検討会では、前回出された防災行動項目の内容を確認し、各グループごとに行動のタイミングを整理した。



グループワーク



グループ発表

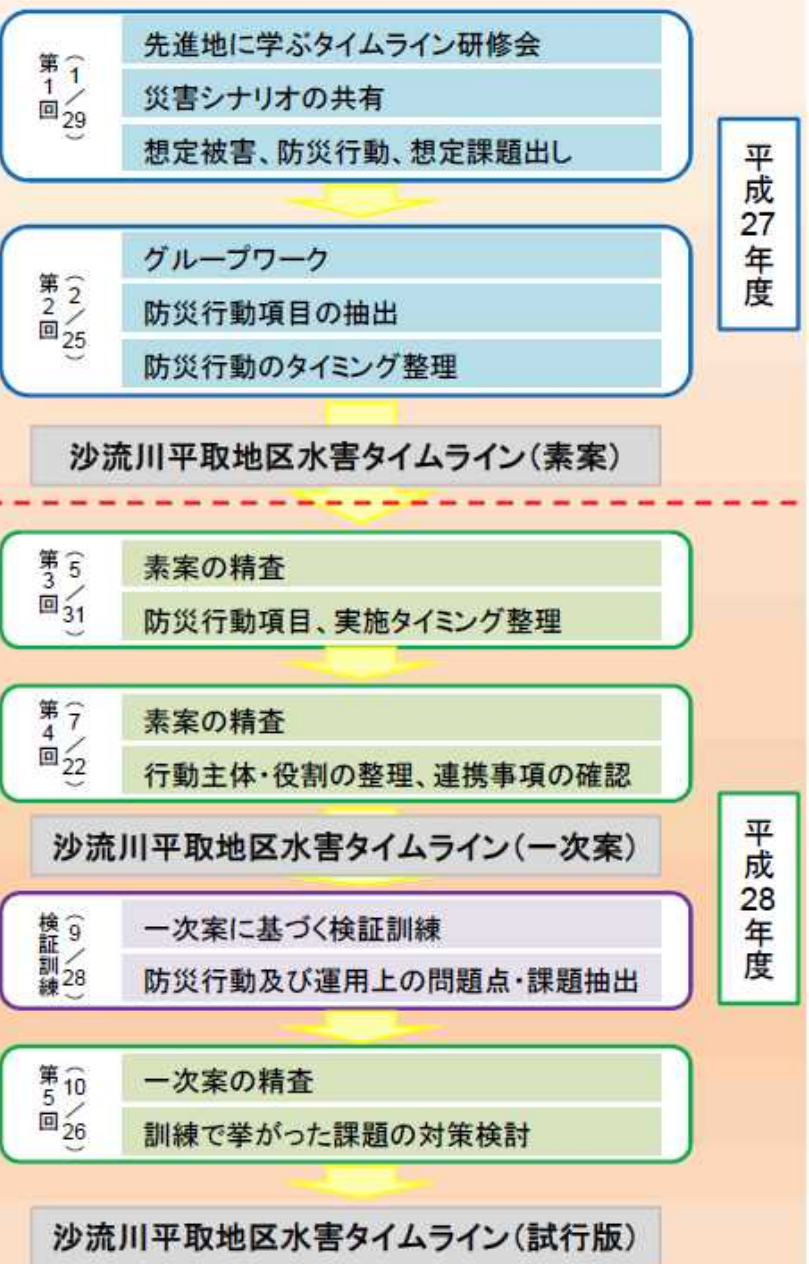


検討会講評

### 今後の予定～ 検討会、検証演習を経て、試行版の完成(協定式)

試行版完成にあたり、室蘭開発建設部、室蘭地方气象台、平取町による、タイムライン運用での協定書を作成し、各長による協定式を行う予定。

### ■平取地区タイムライン検討フロー(平成28年5月16日現在)

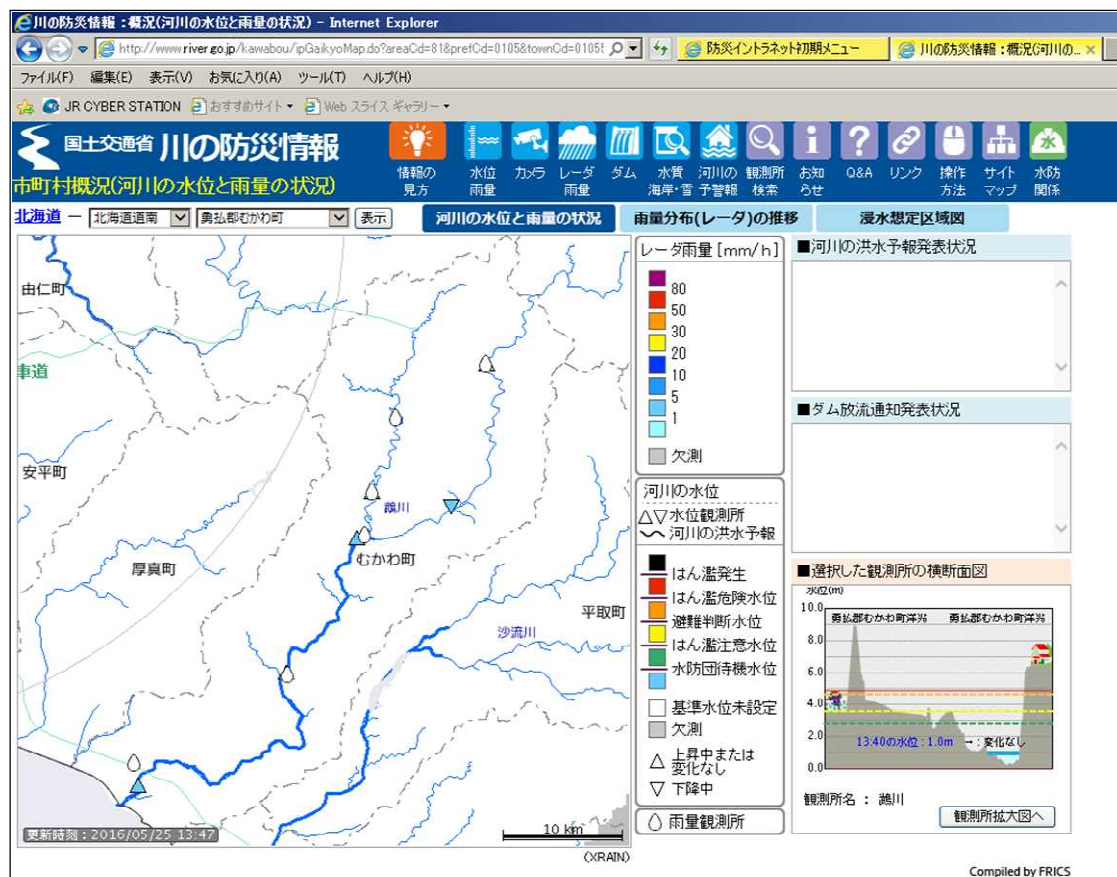


# 迅速かつ確実な避難行動に関する取組事例②

## ■円滑かつ迅速な避難に資する施設整備に関する事項

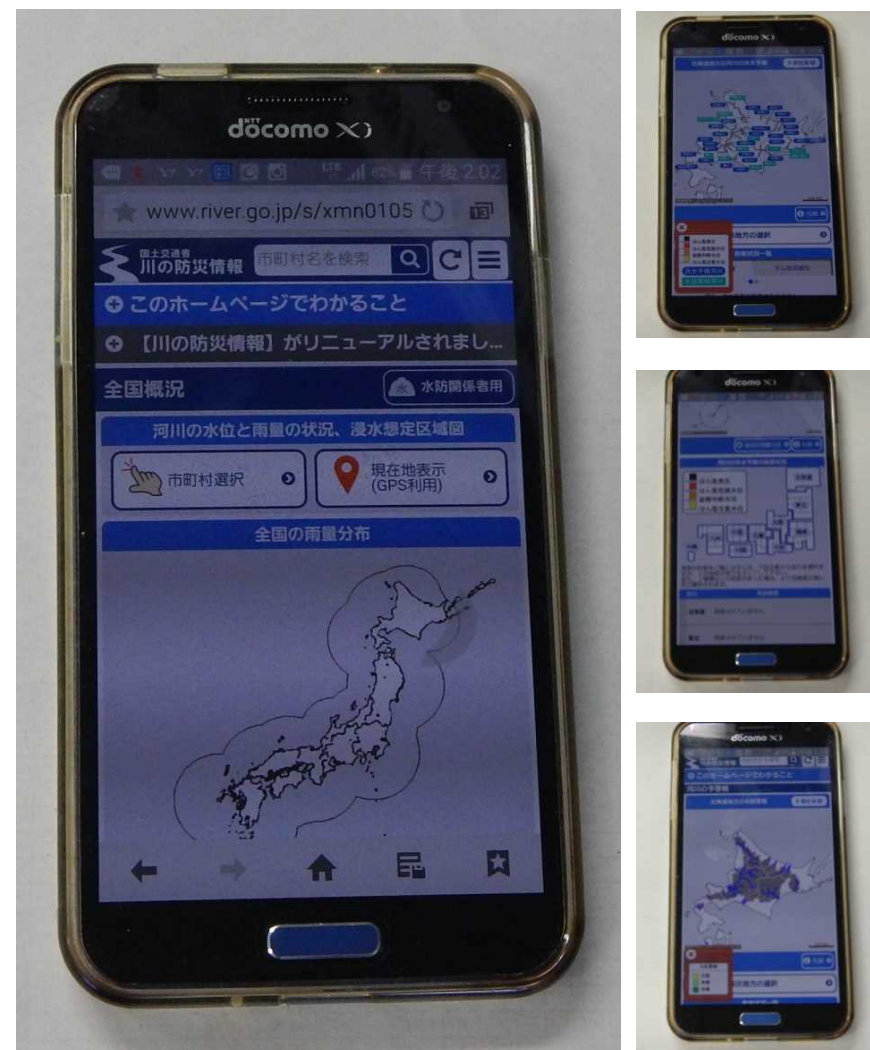
○ライブ画像、河川水位、レーダー雨量等のリアルタイム情報等 PC及びスマートフォンを活用した提供

### PC版



### スマホ版

川の防災情報  
カメラや水位データなどリアルタイム情報が見ることができる



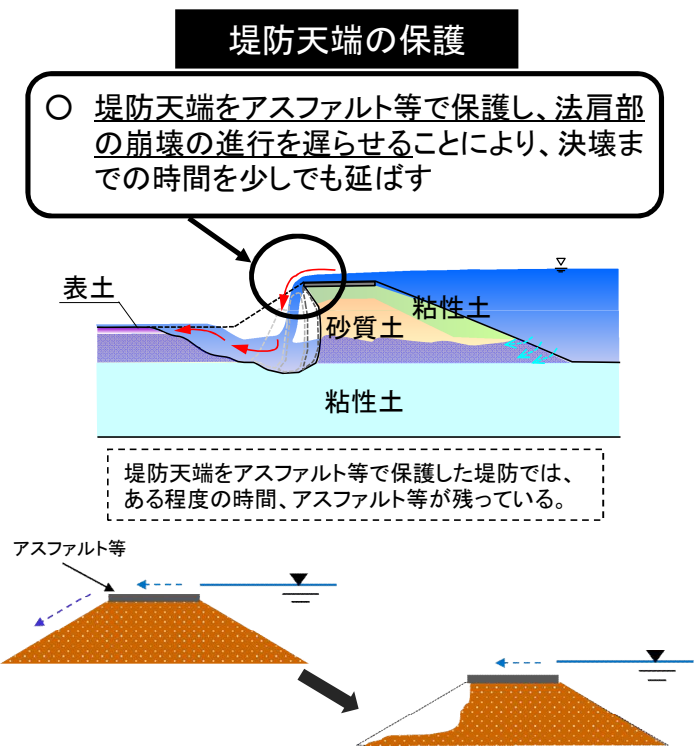
【川の防災情報: URL】

<http://www.river.go.jp/kwabou/ipTopGaikyo.do>

# 迅速かつ確実な避難行動に関する取組事例③

## ■円滑かつ迅速な避難に資する施設整備に関する事項

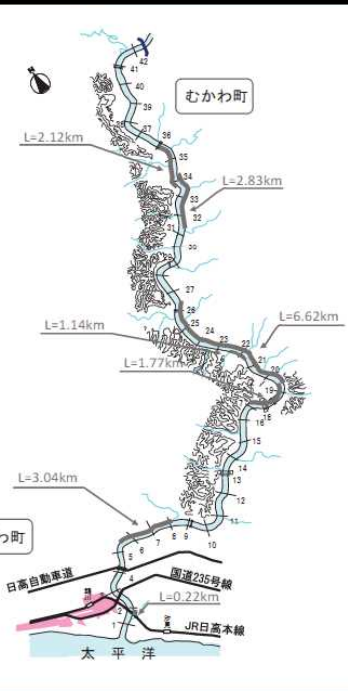
○危機管理型ハード対策  
 氾濫リスクが高いにも関わらず、当面の間、上下流バランスの観点から堤防整備に至らない区間などについて、平成32年度を目途にいわゆる粘り強い構造の堤防など危機管理型のハード対策を実施。



危機管理型ハード対策 概要図 <鷺川>

実施区間延長 (重複無し)	内訳	
	天端の保護	表法尻の補強
17.7km	17.7km	—

※具体的実施箇所等については、今後の調査検討や、洪水被害の発生状況等によって変わる場合があります。  
 ※危機管理型ハード対策と併せて、住民が自らリスクを察知し、自主的に避難できるようなソフト対策を実施予定です。  
 ※表示されている各対策の延長計については、四捨五入の関係で概要図と合致しない場合があります。  
 ※今後概ね5年間で対策を実施する区間を記載しています。



危機管理型ハード対策 概要図 <沙流川>

実施区間延長 (重複無し)	内訳	
	天端の保護	表法尻の補強
0.4km	0.4km	—

※具体的実施箇所等については、今後の調査検討や、洪水被害の発生状況等によって変わる場合があります。  
 ※危機管理型ハード対策と併せて、住民が自らリスクを察知し、自主的に避難できるようなソフト対策を実施予定です。  
 ※表示されている各対策の延長計については、四捨五入の関係で概要図と合致しない場合があります。  
 ※今後概ね5年間で対策を実施する区間を記載しています。



凡例  
 — 天端保護工

危機管理型ハード対策整備箇所図

※具体的実施箇所、実施時期等については、現地状況を踏まえ、必要な調査検討等を行い、実施予定。  
 ※危機管理型ハード対策と併せて、住民が自らリスクを察知し、自主的に避難できるようなソフト対策を実施予定。



# 社会経済被害軽減のための的確な水防活動に関する取組事例

○水防体制強化のため、関係機関が連携した水防訓練及び講習会等の継続実施

自治体防災担当者、水防団、災害協定業者等を対象に水防技術講習会を実施(平成26年9月23日)



縄結び 実習



木流し工 実習



月の輪工 実習

○水防活動の効率化を図るため、平時に水害リスクの高い箇所共同点検

自治体防災担当者、自治会長との堤防共同点検を実施(平成27年11月30日)



共同点検 概要説明



共同点検 現地点検

# 社会経済活動の早期復旧のための取組事例

○迅速な氾濫水の排水を行うため、排水ポンプ車等の重要な地区での排水計画の検討

水防連絡協議会で災害対策車両の配備及び出動要請に関する情報共有、水防技術講習会等で災害対策車両の説明、基本協定締結業者との訓練を実施。



鷓川・沙流川水防連絡協議会(H27.4.30)



水防技術講習会(H26.9.23)



現地排水訓練(H27.6.24)



現地夜間対応訓練(H27.8.25)